

和光の緑と湧き水だより 会報 Verda 155号

NPO 法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2015年10月号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)

身近な自然を知って守り伝えよう <http://wako-wakimizu.org/>

27年	全体会	新倉ふれあいの森	白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力)	樹林公園
10月	17日越戸川祭り 25日 第2回・白子湧水群の保全ボランティア体験会 講師増山晶子氏(生物分類専門家)	24日(第4土に変更)保全	10日モニ1000白子 21日 大坂保全	30日(予定) どんぐりの森保全
11月	15日和光市市民祭り 28日 和光市親子湧き水散歩 中央公民館主催・湧き水の会ガイド	21日 定期保全	14日モニ1000白子 18日大坂保全	11月7日昆虫さがし・森あそび

1. 湧き水に生きる小さな命に会う「白子湧き水・生き物観察会」 9月6日

総合児童センターが中心となり当会と南児童館3者共催で行われた観察会に、生き物に出会おうと親子7組の家族が集まりました。センター職員、会員を含め25名のメンバーです。湧き水で冷やしたスイカは最後のお楽しみとなっています。親子一緒に湧き水に住む生き物に出会い、大人も子供も感動の連続でした。むしろ大人のほうがドキドキ、ワクワクしたようです。子供たちは、どんどん探せるのに、なかなか生きもの探せないお父さんは、一生懸命でした。このような湧き水環境が、私たちの住んでいる身近なところにあることに驚きです。この日20匹位のサワガニ、ヘビトンボ、オニヤンマ幼虫、クロアゲハ、アオスジアゲハ等に出会いました。

“この環境を大切に守ろうね、残さなければ勿体無い!”

高橋勝緒さんのエッセイ「サワガニ君」を掲載します

和光市白子には各所に湧き水があります。そこで目にするのがサワガニです。都市部の幹線道路沿いの湧き水にいるのはびっくりです。今年の夏は、県道川越街道沿いの富澤湧水や、大坂ふれあいの森で、度々観察会や環境保全のボランティア体験会を開きました。その時湧き水周辺で顔を出してくれるのがサワガニ君です。

甲羅の大きさが5mmに満たない子や、2cmを超すものまで。それらを見つけ出す子供たちの観察眼はすごいものです。いつも湧水調査をしている案内役の会員よりもずっと良く見つけます。見つけて大喜びするのは子供たちばかりではありません。8月、和光市に新しく赴任した小中学校の先生方も大喜び。先生方の「和光の自然研修会」を印象深いものにして



サワガニ君たちごめんね、もう棲みかに帰してあげるね



くれたのも、このサワガニ君でした。サワガニの多く棲むのは富澤湧水です。湧水は石ころの多い武蔵野礫層とその下の粘土質の東京層の水平に伸びる地層の境目から豊富に浸み出しています。その水に潤された崖裾の石ころや落ち葉の間に棲み暮らしています。湧水の水温は1年を通してその土地の平均気温とほぼ一致するといわれ、ここでは17℃程で一定です。サワガニの棲むきれいな水と快適な環境がこれからも身近な自然として保てるよう保全に努めています。